

今回は真岡商工会議所青年部の皆さんと座談会を行いました。

青年部の活動内容や活動を通じて感じていること、将来の組織のあり方等についてお話しいただきました。



会長 水澤 良輔 さん



副会長 伊藤 健さん



副会長 西川 和芳さん



副会長 飯塚 耕平さん



副会長 牛川 智一さん

真岡 商工会議所 青年部 × 市議会



副会長 葭葉 範史さん



運営専務 大瀧 勝久さん

地域に求められる団体を目指して

活動におけるやりがいや苦労したことは？

- イベント等の参加人数を増やすためにイベント内容等の吟味することは苦労しましたが、その分お客さんが多く来てくれるとやりがいを感じます。
- 異業種の仲間と交流できることは貴重だと思います。

組織や地域の課題について

- 若い人が1日過ごせるような施設が必要だと思います。
- SNSをより活用し、地域性を生かした事業を行うことで集客力の向上を図るべきだと思います。
- 子どもたちを含めた地域のコミュニティ作りをしていく必要があると思います。

今後目指すべき組織の在り方とは？

- 会員数が多いだけでなく中身のある組織を形成する必要があると思います。
- 地域に求められるような団体を目指していきたいです。
- 女性会員を増やすために勉強会の開催などを行っていきたいです。

市議会に期待することは？

- 今回のような座談会は貴重な意見交換の場なので、より開かれた場での交流会等で議員の皆さんの話を聞きたいです。
- イベント等にも参加していただきたいです。



真岡商工会議所青年部のご紹介

真岡商工会議所青年部の 成り立ちから現在について

真岡商工会議所青年部は昭和59年12月に創立され、令和6年で40周年を迎えました。

青年部は、満49歳以下の真岡商工会議所会員事業所の経営者及びその後継者並びにこの趣旨に賛同する所属の者で構成され、青年部の目的として会員相互の親睦と連携を密にし、企業経営者としての研鑽を積み、真岡商工会議所の事業活動への参加・協力を通じて地区内における商工業の振興を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資することとしています。令和6年度は【合縁奇縁～つながりを継ぎ・紡ぎ新たな次代へ～】をスローガンに掲げ、会員数は今日現在で140名であり、宇都宮市・小山市に続き県内で3番目に多い組織となっています。



真岡商工会議所青年部の 主な活動実績について

真岡の灯ろう流し

毎年8月15日に水辺公園にて灯ろう流しを行っています。令和5年度の灯ろう流しは約1万人以上の来場者があり、灯ろうも2,300個以上販売しております。灯ろう流しは真岡市観光協会から100万円の補助金を活用して継続している事業であり、令和7年度で30回を迎えるため、一層市内の盛り上げに貢献していきます。

翔生ゼミナール

年に数回、会員の経営力向上や事業発展に向けて様々な講師を迎え研修をしています。令和5年度は栃木サッカークラブの代表者をお招きし、組織作りについて学びました。

地域活性化事業

真岡市地域産業活性化支援補助金を活用して毎年地域活性化に向けた事業をしています。令和6年度は真岡市市政施行70周年パレードの同日にまちあるき駐車場にてグルメイベントを開催し、地域飲食店と地元住民を繋ぐきっかけになる事業を行いました。

婚活事業

令和5年度に【令和ろまん真岡DE会おう】という婚活事業を行い、参加者合計22名カップル成立4組と真岡市の少子高齢化の手助けになるよう事業を行いました。